

# 第64回東北連合小学校長会研究協議会青森大会 速報

東北連合小学校長会 会長 澤田 裕一  
事務局 青森県小学校長会

## 第64回東北連合小学校長会研究協議会青森大会，無事閉幕

標記大会が，7月4日(木)，5日(金)にわたり，弘前市民会館と弘前市内のホテル等で開催された。

東北各県より，約950名の会員を迎え，1日目は開・閉会行事と記念講演が行われた。2日目は10の分科会で研究発表とグループ協議を行い，日々の学校経営に資する多くの学びを得ることができた。「東北は一つ」の思いを大切に，会員相互の結束を強化して大会主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進 ～郷土に誇りをもち 未来を主体的に拓くたくましい子どもの育成を目指す学校経営と校長の在り方～」を実現すべく邁進することを誓い，盛会の中，大会を終了することができた。

### 会 長 あ い さ つ 東北連合小学校長会 会長 澤田 裕一

ようこそ青森へそして弘前の地へ。先程の津軽三味線の生演奏はいかがでしたでしょうか。私も久しぶりに聴きましたけれども，大変素晴らしかったと思います。城下町弘前。日本一とも称される弘前公園のさくらまつりを始め，お城を中心に四季折々の美しさと伝統文化が今も息づくこの地に，東北各地から会員の皆様をお迎えし，第64回東北連合小学校長会研究協議会青森大会を開催できますことに心より感謝申し上げます。

本大会の開催に当たり，日頃より温かい御指導と御支援をいただいております青森県，青森県教育委員会，弘前市，西目屋村，青森県市町村教育委員会連絡協議会，全国連合小学校長会をはじめ，関係各位に心より御礼申し上げます。



さて，昨年5月以降，学校現場は徐々に日常を取り戻してきた感はありますが，子どもたちの身体面，情緒面への影響はまだ払拭できてはいないような感じがします。また，元日の能登半島地震を始め，各地で災害が頻発しており，被災地の子どもたちの姿に心を痛めてきました。感染症，自然災害など多様な危機への対応を含め，不登校問題，教員の働き方改革など，学校は多くの課題に直面しております。特に，全国的な教員不足に端を発した教員の処遇改善については今までになくクローズアップされております。令和の日本型教育の実現など，教育改革を推進するためには教員の確保と育成は必須条件です。長時間労働，保護者対応の難しさなどマイナスのイメージが喧伝されすぎているきらいはありますが，職業としての魅力やその輝きは決して失われたわけではありません。現場の教員は日々熱心に子どもと向き合っております。私たち校長は，一人一人の教員に寄り添い，自らも学び，資質・能力を高めて組織マネジメントしていくことが肝要です。そして，教員はもちろん，保護者や地域に対して，国の動向を踏まえた上で，借り物の言葉ではなく，自身の実感や経験に基づき，自分の言葉で語ることが大切だと思います。

本大会は，これらの背景を踏まえるとともに，令和3年度から，大会主題を「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし，「人間力にあふれ，社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもの育成」を標榜した昨年度の山形大会の成果を引き継ぎ，副題に「郷土に誇りをもち 未来を主体的に拓くたくましい子どもの育成を目指す学校経営と校長の在り方」を掲げ，研究協議を深めることとしております。「人間性豊かな社会を築く日本人の育成」のためには，まずは郷土に愛着と誇りをもち，豊かな心を育むとともに，自らに自信と誇りをもち，共に支え合おうとする心情や地域社会に貢献しようとする意識を醸成することが大切です。また，グローバル化が急激に進み，日本人が世界各地で活躍する現代社会にあっても，自身のバックグラウンドに目を向け，大切にしている心情なくして，真の国際理解は期待できません。小学生の今こそ，郷土に誇りをもちさせる絶好の時期ととらえ，その育成に努めることが肝要です。

本大会1日目には，「健康教育の理念とその実践」をテーマに，弘前大学 特別顧問・名誉教授 中路重之先生にご講演をいただきます。短命県ワーストワンといわれる青森県。この短命県を返上しようと，「岩木健康増進プロジェクト」を立ち上げられ，11年間にわたって大規模住民合同検診を実施。世界でも類を見ない健康ビッグデータを蓄積し，健康づくりの波を全国，そして海外まで広がっております。副題の「健やか力」の育成は，小学校教育の大きな柱の一つ，健康教育に通ずるものであり，私たち校長にとって，自校の学校経営に資する多くの示唆を得ることができるものと確信しております。

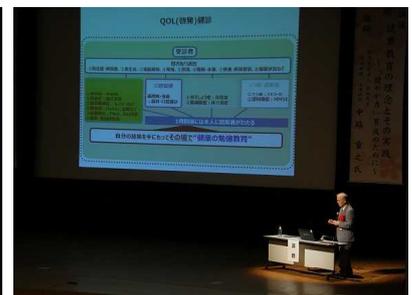
最後になりましたが，「東北は一つ」の合言葉のもと，ここに集った会員が，それぞれの学校経営に触れることができる貴重な機会として，互いの実践を持ち寄り，情報交換することで，多くの成果を地元を持ち帰っていただきますようお願い申し上げます。大会開催のあいさつとします。

## 記念講演 健康教育の理念とその実践 ～「健やか力」育成のために～

講師 国立大学法人 弘前大学 特別顧問・名誉教授  
中路 重之 氏

大会1日目、「健康教育の理念とその実践 ～『健やか力』育成のために～」を演題に中路重之氏よりご講演をいただいた。青森県は社会の指標の一つである平均寿命が全国最下位であり、平均寿命・健康寿命の延伸は県の重要課題である。中路氏は、県の健やか力向上事業推進の中心的な立場にあり、「短命県返上」を合言葉に県民の健康づくりに取り組まれている。青森県のみならず東北各県においても、全年齢でのがん・心疾患・脳血管疾患で亡くなる人の割合が高い方にある。これらを改善していくためには、高齢者よりも若い世代、特に小中学生の頃から健康に関する知識を増やし、年齢に応じた健康への取組が大切であるとのことであった。また、生活習慣から生み出される肥満・高血圧・糖尿病・歯周病が動脈硬化を引き起こしたり、骨が弱くなることが寝たきりにつながったりするという「人の健康(一生)」のお話からは、健康教育の意義とポイントを数多く示してください、未来を主体的に拓くたくましい子どもの育成に大きな示唆をいただいた。

医師として多くの人々の健康を守りたいという責任感と市町村・学校・企業を巻き込んだ実践に感銘を受けるとともに、健康教育を担う校長としての責務を実感できる講演内容であった。



### 分科会 (5会場 10分科会)

2日目は、5つの領域・10の研究課題について、5会場で10分科会を実施した。基本理念を「各分科会の研究課題・研究の視点に応じた校長会としての組織的・計画的な実践研究発表をもとに、校長としての実践に裏付けられた協議を行う。そして、校長の果たすべき役割と指導性の在り方を明らかにし、それらを今後の学校経営に生かすことのできる実りある協議会とする。」とし、大会主題・趣旨を達成すべく3時間に及ぶ活発な研究協議が行われた。

各分科会では、まず、あらかじめ示されていた視点に沿って研究の趣旨・概要・成果と課題を各地区校長会代表の発表者に実践発表していただいた。各地区の社会問題や自校の教育課題について適切な調査をして把握し、緻密で特色ある計画立案のもと、子ども主体の学校経営を推進しようという強い熱意が伝わるとともに、参加者の意欲向上や今後の学校経営の充実に資する発表であった。続くグループ協議では、〈①各内容の推進に係る具体的方策〉と〈②校長の役割〉を協議の柱とし、「研究発表についての有効な取組」「その改善点」「研究課題についての各自の実践」を話題として意見交流を行った。どのグループも、各県・各地区の多様な実践から研鑽を深め、子どもたちをよりよく育成するための校長としての資質・能力を高め、学校経営を充実させたいとの共通認識が醸成されるような白熱した協議が展開された。



#### 【日程・会場】

7/4(木) 全体会(開会行事, 記念講演, 閉会行事) 弘前市民会館

7/5(金) 分科会

第1～第3分科会 弘前パークホテル

第4～第6分科会 アートホテル弘前シティ

第7分科会 弘前プラザホテル

第8, 第9分科会 フォルトーナ

第10分科会 ラグリー